

海況情報【渥美外海観測結果】

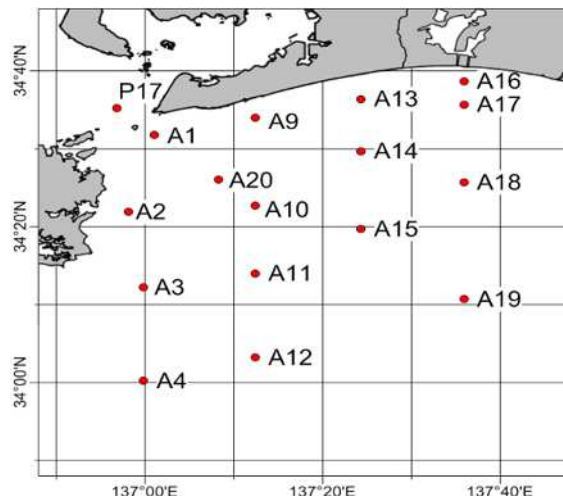
愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和2年4月24日

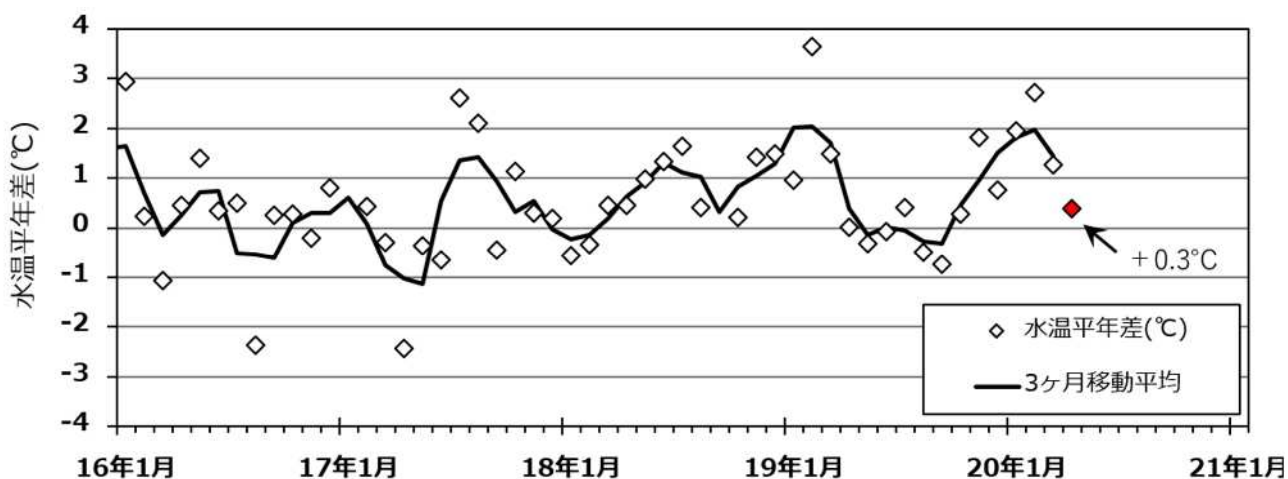
【水温の変動】

4月8、9日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。湾口部の表層水温は平年並み、沖合域の水深200mの水温は平年差+4.2°Cで、極めて高めでした。

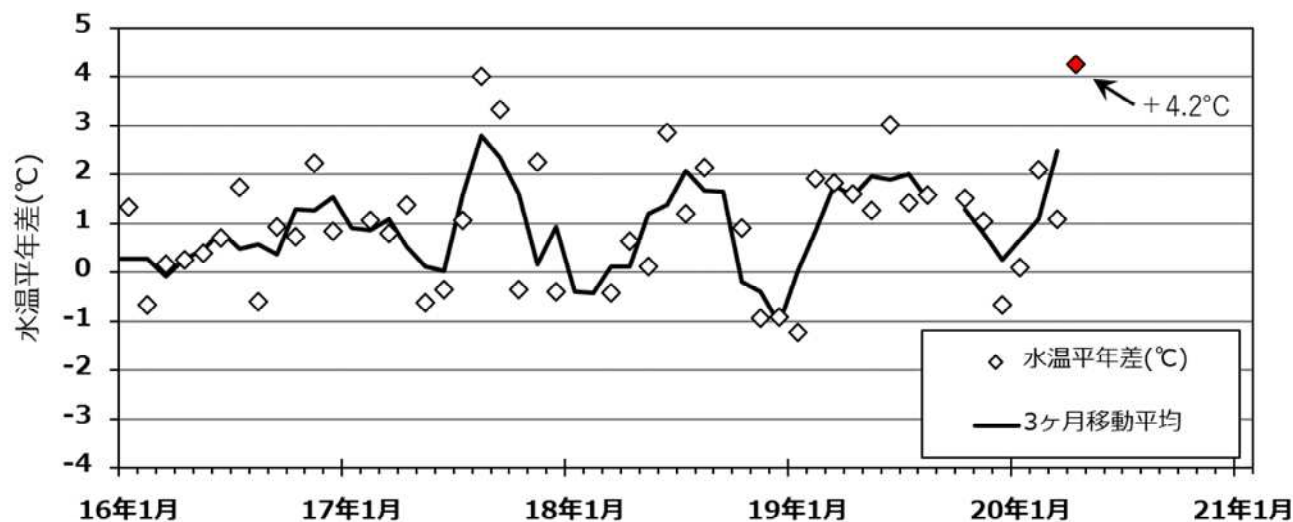
衛星画像によると、黒潮は潮岬沖で大きく離岸し、北緯30度付近まで南下した後、御前崎沖を北上し、房総半島沖を流れています。黒潮流路の接近で渥美外海沖合では高温傾向が続いています。



湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深200m（A4, A12, A19の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、海面で 14.4~21.3℃、水深 100m で 16.0~19.3℃、200m で 14.4~16.7℃と なっていました。水温の水平分布図を見ると、海面では沿岸域に 16℃以下の冷たい水が分布し、 その沖は 17℃以上の暖水が広がっています。水深 100~200m では表層ほど顕著な水温差はあり ませんが、東側のほうが高くなっています。鉛直断面図を見ると、水深 0~100m は均一な水塊 となっています。全域で東向きの強い流れがみられました。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度の鉛直断面図

